

かうか者般

今日。后告

立訊今般心

全長 三百十五米 乗り組員 百廿九名

去昔甲の

コイル予ニ ウイーリ ヲル一ニ

と貝ニ布)

台少ん 沖をわ かがし子と をやぐる

九月同の土に

ゆずろしい所へ行かろくつて

般にのん 29 ぬい

こん石 ずばろしい般 見たと今い

横壁ホク 点

たう石ク 鬼はりの尻い

般にのん 点ニと今い

せめを 見るとややてまいい

私共般の 4ヶヶ 一寸にやある

終戦通券 万二千 かり 引き 子今略

般の 77 下ヤ 点 ちやうと 9れに

の 7 点 ちやうと 32 へ ぼり 2 ちやうと

くらの中 船がゆれるに  
 舟がみづちへぶかり ころちのぶかり  
 遠の昔のこゝ 小笠原の年をわたり  
 海はなほなる 久きなる  
 月がのぼるし 日けしむる  
 舟がゆれるに 舟の風  
 そんな歌 ふもい 出でた  
 舟の葉田も今も  
 船はのりる と思つてり  
 笑ふ船の姿を

こゝへけつて ぶるに

2025  
1/27